

子ども議員任命式&交流会を行いました！

令和4年7月31日（日） 滋賀県庁新館7階大会議室

7月31日（日）に、2022年度「滋賀県子ども県議会」子ども議員任命式を行いました。子ども議員として選ばれた小学4年生から中学3年生までの30名が、知事から任命書を受け取りました。12月26日（月）に開催予定である子ども県議会に向けての活動がスタートしました。

また、午後からは、交流会として、これから共に活動していく仲間と交流を深めました。地域や学年の異なる子どもたちが集まり、はじめは、緊張していた子どもたちもだんだん打ちとけ、「これからがんばっていこう」という子ども議員としての熱い思いが感じられました。

これから行われる体験活動や学習会を通じて、これまで以上に、自分自身のことや友だちのこと、地域のこと、そして、身の回りの生き物のことをより想い、深く考えていきたいと思っています。



知事から「これからがんばって活動してほしい」とお言葉をいただきました。



任命式の後、これからの活動の見通しをもち、共に活動していく仲間と交流を深めました。

【子ども議員の声】

私は、子ども議員になって、滋賀県の一員となり、知事の手助けをしたいと思います。そのためには、まず、街の人たちにインタビューすることが大事だと思います。午後からは、サポーターやみんなと仲が良くなったと思います。次の活動も楽しみです。

次回（第2回）は、8月22日（月）に、大津市で2グループに分かれて体験や活動を行い、午後は、体験したことをみんなで共有します。



最後は、小グループに分かれて、今日の活動を振り返ると共に、次の活動の見通しをもちました。

子ども県議会第2回活動 ～大津市にて地域体験活動～

8月22日（月）10:00-16:00

子ども県議会第2回の活動は、大津市における地域体験活動を行いました。大津駅前に集合し、2グループに分かれて、実際に見たり、お話を聞いたり、質問したりしました。午後は、県庁に帰ってきて、午前中に学んだことを整理し、共有しました。新型コロナウイルス感染症の影響で、実際に街へ出かけていくのは、3年ぶりでしたが、やはり実際に見る、実際にお話を聞いたり質問したりすることは、大きな学びにつながったのではないのでしょうか。



「不登校って何だろう、居場所って何だろう」 大津オルタナティブスクール トライアンプ	「まちづくり、未来を幸せにする仕事」 株式会社 木の家専門店 谷口工務店（大津百町スタジオ）
【考えてみよう！】 ・不登校ってどんなこと？ ・あなたの居場所はどこ？ ・すべての人にとって、居場所とは？ ・勉強や学ぶってどういうこと？ ・子どもが幸せに生きるためには？	【考えてみよう！】 ・「木の家」は何がいいの？見て、さわって、において見つけてみよう！ ・「100年くらせる家」とは？ ・日本の森林を元気にできる家とは？ ・町家の再生について
 	 
学校へいくのがふつうと言われているけど、学校に行っていない人が悪いと決めつけるのはダメだと思う。集団行動が嫌だという気持ちはすごく共感ができた。校則はもちろんいるものもあるのだろうけど、なぜ必要なのか説明できない校則を押し付けるのはやめてほしいと思いました。（子ども議員）	木の家の特長や最近の建物の造り方、傾向について知ることができた。昔の文化や技術が最近では消えつつあり、それを残すためにはどうすればよいか、昔の文化や技術とは何なのかを学ぶことができた。また、家の寿命が短いほうが「リフォームしづらい」と聞いて、びっくりした。（子ども議員）

午後は、県庁の会議室にて、午前中に体験してきたことや聞いてきたことをまずは自分で整理し、グループのみんなで共有しました。そして、「子どもの学びや居場所は？」「これからの家づくり、まちづくりは？」という2テーマについて、アイデアを出し合い、ポスターセッション方式で、グループでの話し合ったことを発表しました。

子ども議員一人ひとりがお互いの意見を尊重しながら、自分の考えたことを出し合いました。



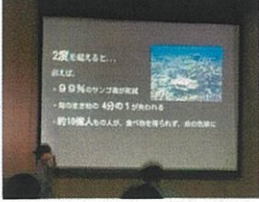
次回（第3回）は、
9月3日（土）に、
長浜市で活動します。

子ども県議会第3回活動 ～長浜市にて地域体験活動～

9月3日(土) 10:00-16:00

子ども県議会第3回の活動は、長浜市における地域体験活動を行いました。長浜駅前に集合し、2グループに分かれて、実際に見たり、お話を聞いたり、質問したりしました。午後は、曳山博物館にて、午前中に学んだことを整理し、共有しました。また、長浜の町で地域の人や観光客の人の声を集めるというボイス調査も実施しました。いろんな人の声を聞いて、これからの社会や町づくりについて考えるきっかけとなったのではないのでしょうか。



「共生社会、人権」 フードバンクながはま	「気候危機のない明日のために」 Fraturdays For Future Shiga (フライデーズ フォー フューチャー シガ)
【考えてみよう！】 食べることに困っている人がいます。それは、だれのせいでしょうか。だれが、その問題を解決したらよいのでしょうか。	【考えてみよう！】 ・気候変動ってホント？ ・CO2を出さないくらしについて ・日本の気候変動への対策は？滋賀県は？
 	 
フードバンク長浜さんは、ラベルや食品表示上の間違いでむだになった食品を市役所や生活に困っている人に届ける仕事をされていました。さらに、新型コロナウイルスで休校になったために残ったパンやソフト麺を市の人々に一つひとつ配り、むだをなくされていることにすごく感動しました。(子ども議員)	・自分たちの生活の中でも、気候変動の原因となるものがけっこう多くておどろきました。例えば、電気や水などできることから節約していきたいと思いました。(子ども議員) ・みんなが危機感をもって行動することが大切だと思いました。プラスチックを減らすなど身近なことからしていきたいです。(子ども議員)

午後は、曳山博物館にて、午前中に聞いたことをまずは自分で整理し、その後グループのみんなで共有しました。

後半は、ボイス調査をする目的や意味について学習したあと、実際に長浜の町に出かけて行き、地元の商店街の方や観光に来られている方に、お話をうかがいました。地元の方の地域に対する思いや他府県から来られている方の滋賀県に対する思いなど様々な方の思いを聞かせていただきことができ、子ども議員にとっては大変貴重な体験となりました。

今日聞きたいいろんな人の思いをこれからの学習会に活かしていきたいと思います。

次回(第4回)は、10月1日(土)に、県庁にて、学習会を行います。



子ども県議会第4回活動 ～学習会①～

10月1日(土) 10:00-16:00

子ども県議会第4回の活動は、県庁にて行いました。これまでの活動は、「滋賀について知る」インプットの活動でしたが、今回からは、子ども県議会当日に向けて、自分の考えを出していくアウトプットの活動となります。子ども議員は、ウィッシュポエムづくりやを通して、滋賀県の10年後の姿について、自分の考えを出し合い、みんなで話し合いながら、考えをまとめていきました。



午前中は、10年後の滋賀の未来を想像して、「〇〇だったらいいのになぁ」を短冊にたくさん書いていきました。子ども議員の自由な発想で、10年後の滋賀県を思い描いて、アイデアを出しました。



たくさん書いた中から、自分の思い描く一押しを決め、それぞれの一押しを全体で共有しました。

そして、同じようなカテゴリーで委員会をつくりました。

今回は、①食と学校、②平和、交通、観光、③歴史、④びわ湖、⑤SDGs、⑥自然、⑦地域社会、仕事、学びの7つの委員会ができました。



午後は、委員会に分かれて、自分の思い描く一押しの未来について、委員会のみんなと共有したあと、「思い描く10年後の滋賀県の姿」、「現在の滋賀県の状況」、「思い描く滋賀県にするために、子ども議員ができること」、「大人の人にしてもらいたいこと」などを考えて、ワークシート



に書き込んでいきました。

子ども県議会では、自分が提案したいことを発表する「提案文」とともに、思い描く未来に向けて、子ども議員が取り組むことを発表する「子ども宣言」の役割があることを知り、子ども議員は、「提案文」チームと「子ども宣言」チームに分かれて、自分が言いたいことや子ども議員が取り組むべきことをより深めていきました。



一生懸命考えて、疲れた様子の子もみられましたが、次回までに、「〇〇についてさらに調べてみよう」「こんな資料があるといいな」「クラスの友だちに〇〇についてインタビューしてみよう」と、それぞれが次回の学習会までに取り組んでくることを決めて、第4回の活動を終えました。

次回(第5回)は、10月30日(日)に、県庁にて、学習会を行います。

子ども県議会第5回活動 ～学習会②～

10月30日(土) 10:00-16:00

子ども県議会第5回の活動は、県庁にて行いました。子ども県議会の活動も大詰めになってきました。今回は、まず全員で、昨年度の子ども県議会の様子を視聴し、子ども県議会では、提案をする役割だけではなく、議長や子ども宣言の発表など様々な役割があることを確認し、自分がどの役割で頑張りたいのか、当日の役割分担を行いました。



提案を希望した子どもたちは、提案文の作成の仕方について、過去の先輩方の提案文も見ながら、「自分の伝えたいことをより分かりやすく伝えるためにはどうしたらよいか」「より説得力のある提案文にするためにはどうしたらいいか」のポイントを学びました。その後は、頭をひねりながら、ひたすら提案文を作成していききました。



提案文を作成していく中で、足りないところや「こうしたらどうだろうか」と、子ども議員同士で話し合ったり、サポーターに意見をもらったりしながら、一生懸命取り組む様子が見られました。

子ども宣言の担当になった子どもたちは、それぞれの委員会でこれまでに出了された意見を集約し、これからの生活において、よりよい滋賀県にしていけるために、自分たち子ども議員が実行していくべきことを話し合いました。今回話し合った結果の子ども宣言案を、次回の活動において、全員に提案してくれる予定です。

また、子ども県議会において、議長を務めてくれる3人も話し合いにて、無事に決定しました。



子ども県議会当日に向けて、着々と準備が進んでいます。今回の学習会を終えて、提案文がもう少し仕上がっていない人は、再度家庭に持ち帰って、後日提出してくれる予定になっています。自分の思いを大切に、しっかりと提案文にまとめてくれることを楽しみにしています。

次回(第6回)は、12月10日(土)に、県庁にて、学習会(リハーサル)を行います。

子ども県議会第6回活動(学習会③)～リハーサル～

12月10日(土) 10:00-16:00

子ども県議会まで最終となる学習会を開催しました。子ども県議会当日に向けて準備を進めるとともに、「子ども宣言」について、最終確認しました。

「子ども宣言」は、「滋賀の未来がこうなったらいいのになあ」を本当にするために、子ども議員自分たちが実行していくことを話し合って決めて、「私たちはこうしていきます!」と宣言するものです。子ども宣言チームが検討してくれた宣言をみんなで共有し、確認しました。

そして、提案や子ども宣言、議長の各担当で準備や打合せ、本番に向けての練習を行いました。議長や提案者は、話す声の大きさや速さ、抑揚のつけ方、姿勢、視線などに気をつけながら、練習を繰り返しました。子ども宣言については、宣言を分かりやすく伝えるために、画用紙に宣言を書きました。当日は、画用紙を見せながら発表します。

また、子ども県議会当日をイメージし、全体でリハーサルを行いました。本番の流れを確認した後、議長の進行のもと、全体の動きを確認しました。特に、みんなで声をそろえるところやおじぎをするタイミングなど、一つひとつ確認しながら、リハーサルが進んでいきました。サポーターからもアドバイスをもらいながら、子ども県議会当日に向けて、気持ちがさらに高まった様子でした。次回は、いよいよ当日です。一人ひとりが自分の役割をしっかりと果たし、思い出に残る子ども県議会にしましょう!!



子ども宣言チームは、みんなの意見を集約して、最終「令和4年度子ども県議会子ども宣言」にまとめました。



提案者は、サポーターに助言してもらいながら、発表の練習を頑張りました。



会場を議場と見立てて、全体のリハーサルを行いました。お礼をする位置や立ち位置など一つひとつの動きを確認しました。



子ども宣言は、みんなが前に出て、順に発表していきます。自分たちの思いを伝えます!

次回は、12月26日(月)、子ども県議会本番です。

子ども県議会

令和4年12月26日(月) 滋賀県議会議場

令和4年12月26日に、子ども県議会を開催しました。30名の子ども議員は、7月31日(日)に、任命されて以来、2回の地域体験活動と3回の学習会を積み重ね、広い視野から滋賀県について考えました。自分のことだけではなく、まわりの人のこと、びわ湖のこと、そして、滋賀の未来のことを考え、子ども議員同士で思いや考えを共有しました。その活動の集大成として、滋賀県議会議場で、滋賀県をよりよくするための提案や子ども宣言の発表を行いました。当日は、滋賀県議会102代目議長の岩佐弘明様、厚生・産業常任委員会委員長の海東英和様にも来賓としてお越しいただきました。

子ども議員は、歴史ある県議会議場において、それぞれの役割を果たし、堂々と発言する様子が見られました。子ども県議会の活動を通して学んだことや考えたことを大切に、よりよい滋賀県にするために、これからも考え行動していつてくれることを期待しています。



岩佐議長より激励のお言葉をいただきました！



知事はじめ関係部局長等に質問に答えていただきました！



子ども議員から、より良い滋賀県にするための10の提案を行いました！



11項目の「子ども宣言」が全会一致で可決されました！



議長は、3名の子ども議員が交代で務めました！



ふりかえり交流会

令和5年2月4日（土）

令和5年2月4日に、ふりかえり交流会を開催しました。このふりかえり交流会は、今年度はじめての取組で、子ども県議会後の取組状況や提案内容について、自由に意見交換をすることを目的に開催しました。午前中は、子ども議員だけで、久しぶりの再会を喜び、子ども県議会後に取り組んでいることやこれから取り組もうとしていることを交流しました。午後は、県の職員も参加し、子ども県議会の提案内容や子ども県議会後にさらに考えたことなどについて、意見交換を行いました。子ども議員は、これまでの活動から考えたことや子ども県議会では言い切れなかったことを県の職員へ伝えることができ、県の職員も子どもたちの考えや思いを聞く大変良い機会となりました。このふりかえり交流会で、今年度の子ども県議会の活動は終了しました。子ども県議会の活動を通して、考えたことや学んだことを大切に、よりよい滋賀県にするために、これからも共に考え行動してくれることを期待しています。



午前中は、グループに分かれて、子ども県議会後の取組状況について、子ども議員同士の交流を行いました。



午後の意見交換会のはじまりの会では、進行やはじめの言葉も子ども議員が行いました。



参加の県の職員一人ずつ自己紹介がありました。普段している仕事の内容をていねいに教えていただきました。



←びわ湖、環境、SDGs
グループ
子ども、教育
グループ →

4グループに分かれて、40分×2回、意見交換を行いました。



←歴史、観光
グループ

福祉、国際社会
グループ →



最後に、大杉副知事から、ふりかえり交流会について、お言葉をいただきました！

【子ども議員の感想】

*県庁のみなさんが僕たちの意見や質問に答えてくれてとてもうれしかった。他の子ども議員の意見も聞いて、そういう意見もあるのだなと思った。
*県庁のみなさんに対話形式で話すことができたのは、答弁とは違い、納得するまで質問をし続けることができて、とても良い経験になった。